

# ロングランシリーズ 消費者問題はいま 提言二〇二〇

## 吉村美衣子 さん (一般社団法人・日本ヒブ協議会・新代表理事)



吉村美衣子さんは、2011年日本消費者連盟から独立して、2012年日本ヒブ協議会を設立された。現在は、一般社団法人・日本ヒブ協議会の新代表理事として活動中。消費者運動の第一人者として知られる。

「今だから言えること、今ではできない、そのよきな、きき大切にしたい気持ちで、ヒブの取り組みに挑戦してゆきたいと思っています」

受け継がれる「日本ヒブ協議会」のチャレンジ精神。今年四月に福原義雄さんからバトンを受け、代表理事に就任した吉村美衣子さん。

十周年には、次世代未来像として生活者と企業の間を繋いだ。Design the Future(デザイン・サ・フューチャー)を掲げました。その中で、生活者・企業・行政の協働のあり方、その重要性も提議しました。四十年を築き上げて美しい花を咲かせる。今年はその芽を育てる思いで取り組んでいきます。

「日本ヒブ協議会は今年で創立四十周年です。四十年以上の歴史への尊厳、それを踏まえた新しい自己診断しているのですが、ヒブ活動では、会員相互の協働でどんなチャレンジ精神がかき立てられるか、

### 日本ヒブ協議会 2020年度方針

## 「三位一体」共創社会を

### 「芽」育てるアクション提唱

時代へのチャレンジ。日本ヒブ協議会はその特徴を持つと吉村さん。私は自分自身を慎重派

ます。これもヒブ活動の特長です。日本ヒブ協議会は、働く女性を支援する意識種・横断的なネットワーク。企業人生活者(の)のこの概念を共有し、それを両輪として「生活者」を産のバイブルを担う。より良い社会創出をめざすには行政との連携・協働が

たテーマです。行政との連携では、昨年十二月から今年一月にかけて福岡と大阪で内閣府・男女共同参画推進連携会議のリーディングプログラムを開催した。

防止対策は消費生活のすべての場面で重大な影響を与えた。一斉テレワークの推進は新しいヒブ活動を生み出す契機ともなった。

「今年度版の消費者白書や第四期消費者基本計画など消費生活に重要な分野を、消費者庁の担当者にご采配いただき、説明していただきます。七月からは新たなInnovationシリーズとして、連続講座も予定しています。今年度は、チャレンジを基本とし、情報発信もいっそう力を入れたいと思います」

不可欠であることから、生活者・企業・行政三位一体として位置付け、その共創・関係構築を呼びかけている。

今年の活動テーマは、「三位一体」のサブ・型共創社会にむけたアクション・Innovationの芽を育てる。この活動の継続性を重視し、これまでの活動内容を一歩進め、深め、広めていく。そのためのアクションが各都道府県の思いで決ま

与できることを実感させました。四月の総会では、エフ会議も活用し、連年の会員ともオンラインでお会いできました。また、関西支部と九州支部がオンライン委員会を開催、今年度活動のキックオフを宣言しました。

移動せずとも全国の支部・会員と迅速につながることができたのは重要な成果です。今後の活動への大きな前進となります。

六月三十日に都で開催した「月例研究会」では、

「日本ヒブ協議会は今年で創立四十周年です。四十年以上の歴史への尊厳、それを踏まえた新しい自己診断しているのですが、ヒブ活動では、会員相互の協働でどんなチャレンジ精神がかき立てられるか、

消費者教育推進会議委員として理事が参画、消費者志向経営推進プラットフォームの構築推進体としての活動。また、関西支部と九州支部がオンライン委員会を開催、今年度活動のキックオフを宣言しました。

移動せずとも全国の支部・会員と迅速につながることができたのは重要な成果です。今後の活動への大きな前進となります。

六月三十日に都で開催した「月例研究会」では、

吉村さんの思いがどんなヒブ活動へと実を結ぶか、注目だ。